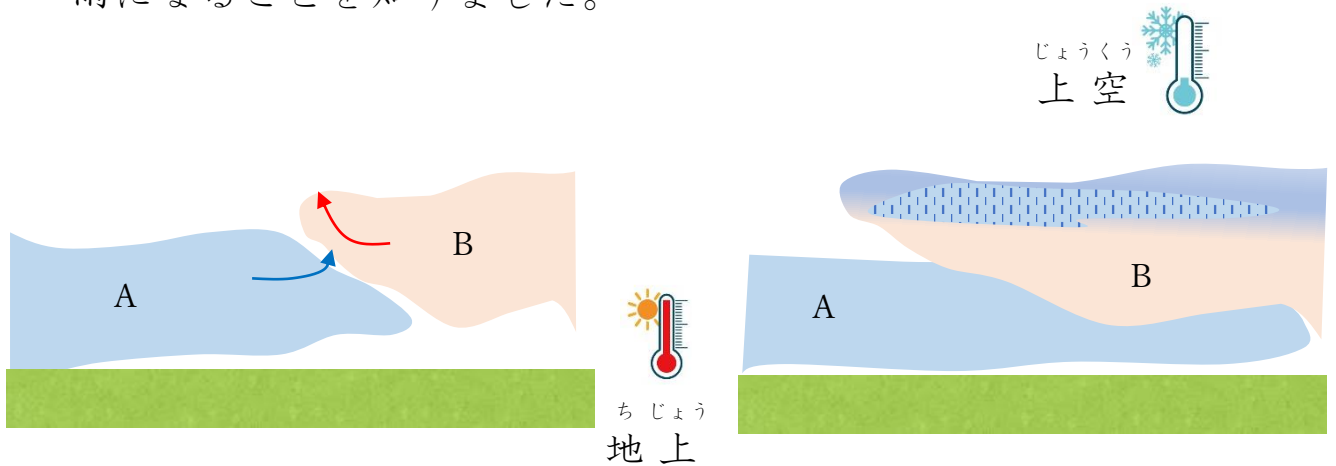


1 122では <sup>あたた</sup>温かい空気が <sup>つめ</sup>冷たい空気に <sup>お</sup>押し上げて <sup>あ</sup>られることを

<sup>まな</sup>学びました。上空は <sup>じょうくう さむ</sup>寒いので、<sup>あたた</sup>温かい空気が <sup>ひ</sup>冷やされて

<sup>あめ</sup>雨になることを <sup>し</sup>知りました。



① 押し上げている空気は、A B どちらですか。

② 押し上げられている空気は、A B どちらですか。

2 雨が降る仕組み

「こうして こうすると こうなる。」ことを「仕組み」といいます。

雨が降る仕組み

① <sup>あたた</sup>温かい空気と <sup>つめ</sup>冷たい空気がぶつかって、

② <sup>つめ</sup>冷たい空気が <sup>あたた</sup>温かい空気を押し上げて

③ <sup>じょうくう</sup>上空で <sup>あたた</sup>温かい空気が <sup>ひ</sup>冷やされて雲ができて、

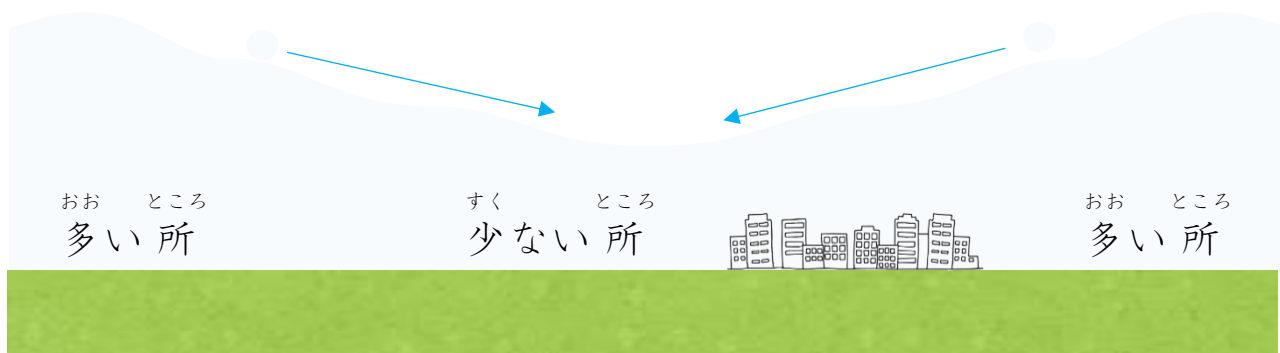
④ <sup>くも</sup>雲の中の <sup>すいぶん</sup>水分が大きくなって <sup>あめ</sup>雨になる。

3 このほかにも <sup>あめ ふ し く</sup> 雨が降る仕組みが <sup>べんきょう</sup> あります。勉強しましょう。

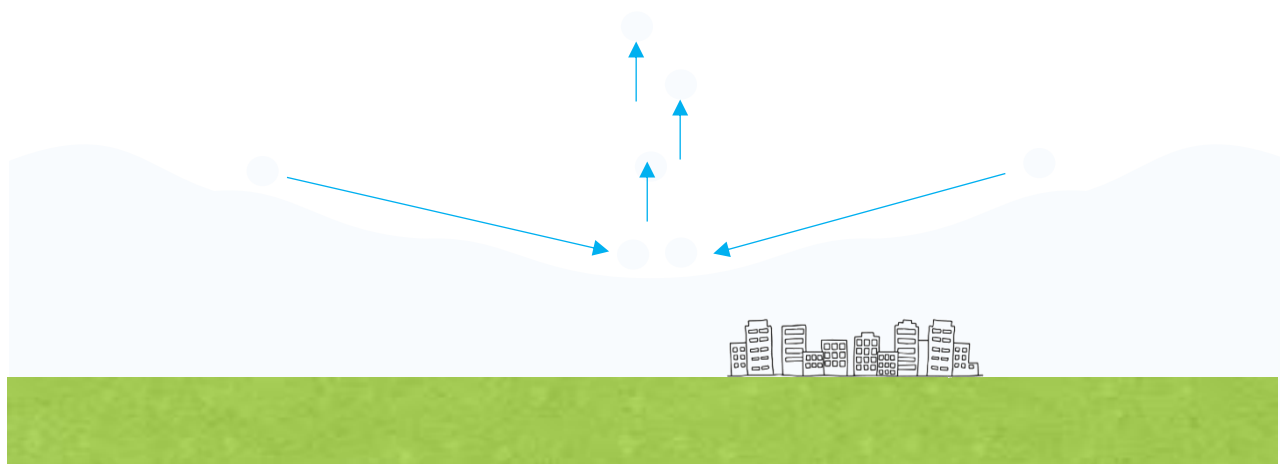
<sup>ちきゅう</sup> 地球には <sup>くうき</sup> 空気が多い <sup>おお</sup> 所と、<sup>すく</sup> 少ない <sup>ところ</sup> 所があります。

<sup>くうき</sup> 空気は <sup>おお</sup> 多い <sup>ところ</sup> 所から <sup>すく</sup> 少ない <sup>ところ</sup> 所へ <sup>うご</sup> と動いていきます。

<sup>くうき</sup> 空気の動きを <sup>うご</sup> 風 <sup>かぜ</sup> といいます。



<sup>くうき</sup> 空気と <sup>くうき</sup> 空気がぶつかって、<sup>くうき</sup> 空気は <sup>うえ</sup> 上 <sup>あ</sup> に上がっていきます。

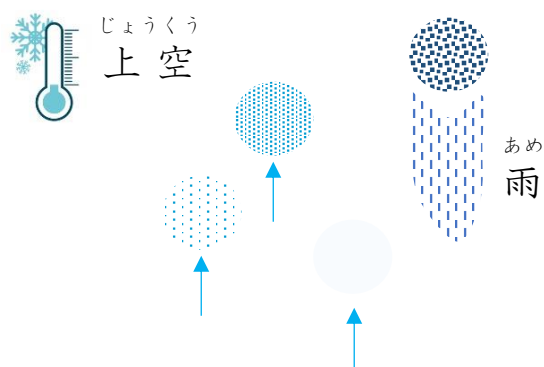


<sup>くうき</sup> 空気は <sup>じょうくう</sup> 上空 <sup>ひ</sup> で冷やされます。

すると、<sup>くうき</sup> 空気の中の <sup>すいぶん</sup> 水分が

<sup>みず</sup> 小さな水の <sup>つぶ</sup> つぶになります。

そして、<sup>つぶ</sup> つぶと <sup>つぶ</sup> つぶが <sup>くっついて</sup> くっついて <sup>大きくなり</sup> 大きくなり、<sup>あめ</sup> 雨になります。



4 テスト 3の読み取りが終わって時間があったら正確に読み取れたかどうかテストに使う。

どの文は どの絵ですか。文が表す絵を選びましょう。

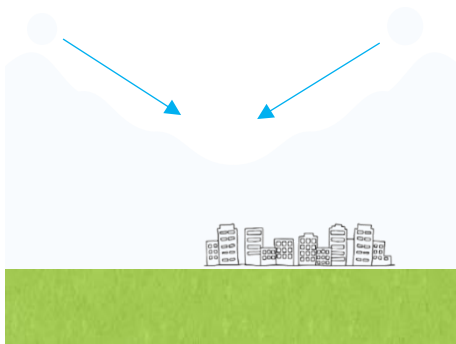
① 空気は多い所から少ない所へと動いていく。 ( )

② 空気と空気がぶつかって、上に上がっていく。 ( )

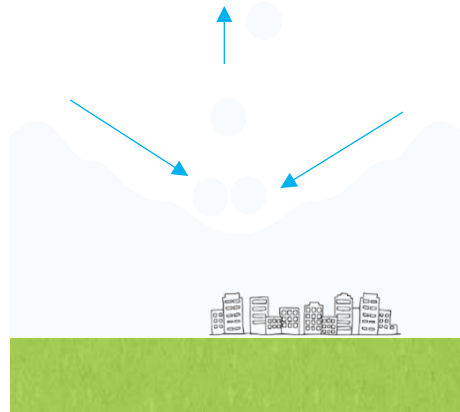
③ 空気は上空で冷やされ、小さな水のつぶができる。 ( )

④ つぶとつぶがくっついて大きくなり、雨になる。 ( )

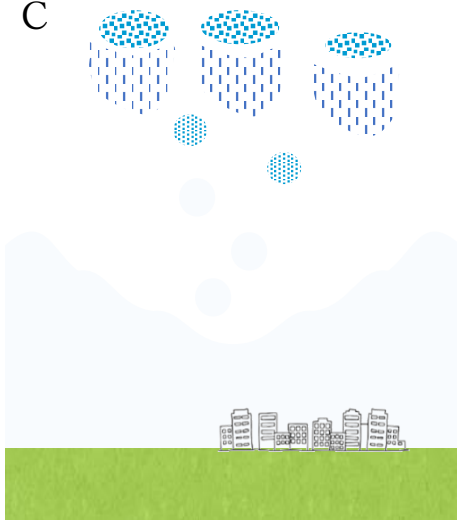
A



B



C



D

